

沖縄製糖業体制強化対策事業

令和3年度予算額 10 億円（令和2年度予算額 11.8 億円）

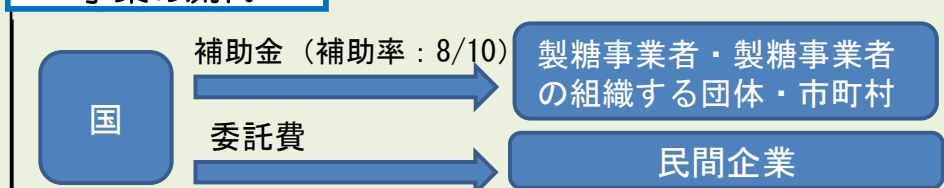
事業のポイント

- さとうきび生産とともに地域経済の維持発展に大きな役割を果たしている製糖業については、
- 人口減少や高齢化等により労働力が不足する中、製造部門の働き方を見直し、時間外労働の上限規制等、働き方改革に対応できるようにするとともに、黒糖製造業においては、脆弱な販売・保管調整管理部門を強化し、さとうきびの増産等にも対応できるようにすることが求められている。
 - また、新型コロナウイルス感染症拡大といった不測の事態により、労働力の確保がより困難な状況下において、他分野から幅広く人材を確保し、有効かつ円滑に活用することで製糖業が継続・維持できる体制を整える必要がある。
 - このため、製糖業の製造部門等において、人材確保・育成や季節工等の労働環境の整備を図りつつ、限られた人材を有効に活用して、脆弱な販売・保管調整管理部門の体制強化を図るための取組を推進する。

事業の内容

1. 人材確保・育成支援事業（継続）
 - ・労働力を安定的に確保するための人材確保の活動、製造施設運営等に必要な資格取得・技術者の人材育成及び幅広い分野の人材を有効かつ円滑に活用できるようにするためのマニュアルの整備
2. 沖縄県産黒糖需要拡大・安定供給体制確立実証事業（継続：委託費）
 - ・黒糖の需要・流通状況や海外ニーズ等需要拡大・販売部門の強化に向けた調査等の実施、黒糖の適正な保管調整管理の仕組み等の立案、実証、構築
3. 人材確保・地域活性化施設整備事業（継続）
 - ・市町村による季節工等の宿舎・地域活性化に資する施設の整備

事業の流れ



期待される効果

製糖業の労働力を確保するとともに、黒糖の安定供給体制を確立することにより、安定的、持続的操業が可能となり、地域経済の維持・発展に寄与。